時事新報

時事新報

東洋政治家に一言を呈す

西洋文明民政の國柄にては位地高く權力大に富貴圓滿何に不足なき政治家が其職位を安んぜて民の怨望を受けざるを決して珍らしからざれども東洋諸國の政治家にして富貴圓滿然りも政治の實權を握るものは久しからぬして人民の怨府と爲り毀譽百端其終りを全うすると能はざるもの多きが如し蓋し文明民政の國にては人民多數の意望に因りて時の政治家を撰拔し之れを政權を授くるの趣向あれば人民は其政治家が出來べき丈けの勢力を振ふて己れの意望を達せんことを欲し兼ねて最良の政治家が順流得意の境遇に在るを見れば己れも亦其歡樂を分有せるが如き思ひを爲し逆流失意の人々も他日取て之れに代れば己れも亦其境遇に立つことを得べしと信ぜて徒らに之を嫉視するものなるとあり東洋諸國の政治家は其事情稍や之れに異あり と申すは元來此流の人々い人民の意望を以て撰擧したるものゝ非ず武勳文功其立身は樣々なれども要するに一時の勳功に因りて時の政府中に其位地と占めたるものなれば人民は其進退の事に與からずして遙かに之れを傍觀するの趣きあり即ち當路の政治家が錦衣玉食唯我獨尊公然其榮華を誇示するを見て己れ其歡樂を分有するの想ひを爲さゞるれみならず窃かに之れを嫉視して其失敗と斷るれ念を生ずるい人間の弱點亦是非もあき事共あり左れば東洋諸國の如く政治家の進退人民の意望に出でざる國柄にては政治家たるもれも亦自ら之れに處するの工風を案じ正面より人民怨讐の街に當らざるの覺悟なそ肝要あれ即ち其素行に於て富んで奢らず貴ふして高ぶらず一種尋常人と異なる所を存ぜて公衆を去て其の人と爲りに感せしむるの曩梅加減あかる可からざるなり例へば位地權力重大にして車馬第宅飲食奉御都べて尊榮を極む可き身分にありながら質素勤儉と旨として當て外形の修飾に頓着せざるが如き或は又滔々たる濁世界に在りて內行嚴肅凜然と為て犯す可からざるが如き固より政治家の私德れ一部分さるに過ぎざれども政治社會の人の同情を引き起して我を欽慕するれ念と生せしむるものは蓋し此邊に緣因すると多きものゝ如し古來東洋政治家の傳と見るに明哲身と保ち始終國民の心を得たるものは富貴圓滿の其中にも或は緩流急退の策に出で功名赫々の其身にて身後に贈石の貯あく或は政治の實權を握りながら故ふに其名聞を披露せず已れは物蔭に潛ち居りて窃かに他の人形を操る等就れも人民怨讐の衝に當るあとを避けざるものあるとなし即ち西洋の民撰政治家と東洋の自選政治家とは人民の之れに對する感情に異同あるが故に東洋の政治家は自から其位地の何たるを知りて之れを處するの工風と講ずると最も肝要の事なるべし現ゝ西洋諸國の中にても騷亂の如き國柄にては政治家の進退必ずしも民意ゝ出でざるが故に必ある政治家は自から其品行事動に注意して民怨の不平を引き起さゞるゝとを勉むる由なり前年日本の官人某氏が騷亂に至りて大宰相ビスマルク公を訪問したる其折窃かに宮內を見渡すゝ飾附萬端質素にして普佛戰爭の際の分取品其他粗大なる器具を室隅に陳列する位に過ぎざれば某氏は談話の序に感れに公に問ふて大國の宰相、何を求めてか得ざらん只今御見受け申と處にては如何にも質素の御暮し向き不審千萬に存ずれとも故ゝそあらぬ柔和仕らんと述べたるに公は徐に之を答へて某文貳の勳功あるに因り更くも我皇帝陛下の恩寵を蒙りて多年現在の職位に在れども此職位の為天下の人の羨望する所あれば之れに居りて豪華歡樂を誇ふに於ては某の一身怨ち人民の怨府と爲り陛下の寵遇に答ふるとさへ覺東あき次第あれば見らゝ如く萬事勤儉と旨とする儲あて候云々と語りたる由果して事實然りや否と姑く置き政治家として世に立たんものは此邊れ勘辨と忍耐なくしては叶いぬ事なり任官して將相に至り富貴にして歡樂を極め車馬第宅其觀を張りて酒高會四隣を驚かすは人情の榮とする所あらんと雖ども政治の實權を握りて兼ねて又快樂場の風流權を握り凡俗の榮華を一身に咲かせて一時の盛を誇ると兄は盛名の下、酷評多く果ては其終りを全ふすと能はざるに至らん畢竟人心の趨勢を察して之れに順應せるの妙用を欠き興に乘ぜて兒戲の榮華に迷惑するが故ならんはと東洋の政治家にして明哲其位地を全ふせんとするものい大に自から憂悟する所あかる可らざるあり

官報

○文部省沿革略記（去る一日の續き）

十七年一月東京大學文學部附屬古典講習科國書課同乙部を古典調査科漢書課と改稱す○是月東京女子師範學校教務主任を廢す○是月東京女子師範學校教務主任を改正す○是月文部省教育雜誌の發行を廢す○是月商業學校及中學校規則を改正す○是月蓋國聖渡得樂帝萬國圖藝博覽會に出陳す○是月體操傳習所を設置せしむ○是月高等商業學校を東京外國語學校に設置す○是月文部省官制用掛を廢せしむ

三月高等商業學校を東京外國語學校に設置す○是月文部省官制用掛を廢せしむ

五月參事院議官を以て文部省官制用掛を兼勤せしむ

六月文部省官制用掛を廢せしむ

七月東京大學文學部附屬古典講習科國書課同乙部を古典調査科漢書課と改稱す○是月東京女子師範學校教務主任を廢す○是月東京女子師範學校教務主任を改正す○是月商業學校及中學校規則を改正す○是月體操傳習所を設置せしむ

八月文部省官制用掛を廢せしむ

九月文部省官制用掛を廢せしむ

十月文部省官制用掛を廢せしむ

十一月米國ルイシヤナ州ニウオルレヤンス府萬國工業營繕百年期博覽會に教育及技藝の用具等數百種を出陳す

十二月司法省法學校正則科を文部省の所轄とし東京法學校と稱す

十八年一月府縣立學校長及一等教諭を奏任とすゝを得しむ○是月東京法學校務案程を定む

二月文部省編輯局會計局報告局の外廳の局數掛を廢して更に內記局學務局を設置す○是月音樂取調掛を廢止せしむ

○文部省の所屬を改稱す○是月文部省事務規程を定む○是月東京大學文學部の和漢文學科を分ちて和文學漢文學の二科とゝす○是月文部省所轄學校の授業科は十八年度より其學校に於て使用し或は積置くことを得しむ

三月中學校師範學校教員免許規程を廢止す

四月東京學士會院規則を改定す○是月文部省の大阪出張所を廢す

大阪滋賀兵庫岡山廣島德島愛媛高知の二府七縣の學事を巡視せしむ○是月英國倫敦府萬國發明品博覽會に歌○是月東京大學別科醫學別科法學別科を廢止す○是月文部省官制用掛森有禮を廢止す

五月音樂取調掛事務章程を定む○是月師範學校規程を定む○是月文部省官制用掛を廢止す○是月文部省官制用掛を廢止す

六月文部省官制用掛寺田勇吉を京都大阪兵庫愛知岡山廣島山口の二府五縣に發遣して其學事を巡視せしむ○是月文部省官制用掛を廢止す

十二月二十八日國とある○是月宮崎在京の府縣長官等を招集して教育施設上の要旨を演示す

七月大阪中學校の組織を改めて大學予科と稱す

八月教育令を改正す○是月東京大學豫備門を廢止し東京法學校の豫備科及東京外國語學校の佛國兩語學科を之に屬す○是月東京外國語學校の佛國兩語學科を定む○是月所縣立學校及町村立學校を廢止す○是月東京女子師範學校及町村立學校に合併す○是月文部省官制用掛森有禮を東京師範學校監督とす

○是月東京高工學校長正木退藏を京都大阪兵庫三縣知事に歌す

九月大學分科大學を定む○是月東京外國語學校同校附屬高等商業學校及東京商業學校を合併し其稱を改めて東京商業學校とす因りて姑く從前の高等商業學校の教科を第一部とし東京商業學校の教科を第二部とす○是月東京法學校を東京大學法學部に合併す○是月文部少書記官西村貞太郎を長崎縣岡山新潟埼玉千葉茨城群馬栃木神奈川山梨長野の一府十縣に派遣して其の學事を巡視せしむ

十月從來特に女子師範學校を設置せる者は師範學校に合併し向後女教員の養成は師範學校に於てせしむ○是月府縣選擧師範生徒募集規則を廢し更に東京師範學校生徒募集要項を定む○是月東京圖書館を東京教育博物館構內に移す○是月文部省官制用掛森有禮を以て東京大學二府及兵庫三縣巡視教育視察の為歐洲に發遣す

十一月小學教場の設置に關する心得を定む○是月民式體操及輕體操教員養成の要領を定む○是月東京師範學校教員の採用方を定む○是月文部省第十一年報（明治十六年分）成り上奏す○是月文部大書記官福沢新教育上取調のため歐洲に發遣す

十二月東京大學理學部の機械工學士木工學業綱治金學應用化學等の諸學科を分別して工藝學部を置き文學部中の政治學科を法學部に移す○是月公立小學校の學則は一箇年を以て一學級とみなさしむ○是月樂善會私設の訓黃塾院を文部省の所轄とせる者は是月政府の組織を改革し太政大臣左大臣參議等省卿の職制を廢し更に內閣總理大臣各省大臣を置く森有禮文部大臣に任す○是月工部大學校文部省の所轄に屬す○是月官製海外留學生規則を更正して留學卒業生の外外國語學校卒業者を得しむ○是月文部省從前の各局を廢し更に文部大臣官房學務局編輯局會計局を置き其事務章程を定む文省中に視學部を置く○是月體操傳習所を東京師範學校の附屬とす

十九年一月東京師範學校教頭幹事の職務分掌を定む○是月所轄部局の會計及營繕事務は本省會計局に於て主宰せしむ○是月東京商業學校附屬商工徒弟講習所を東京高等商業學校附屬とし更に理事加藤弘之元老院議官を以て校長に任ず

二月文部少書記官手島精一をして神奈川縣の學事を巡視せしむ○是月各省官制を定む

文部省中次官、秘書官、書記官、局長、參事官、局次長、視學官、試補、屬の職員を置き又大臣官房、總務局、學務局、編輯局、會計局を置く

是月東京師範學校附屬高等女學校を文部省總務局の所屬とす○是月東京商業學校の附屬とす

三月帝國大學令を定む

帝國大學は大學院及分科大學即法科、醫科、工科、文科、理科の諸大學を以て構成し帝國大學に總長、評議官、書記官、學監、書記の職員を置き分科大學に長、教頭、教授、助教授、舍監、書記の職員を置く因て東京大學及工部大學校を以て帝國大學とし其位置を東京本郷區元富士町に定む

是月辻新次文部次官に任ず○是月全國を五地方部に分劃し五名の視學官をして之を分擔せしむ爾後視學官數名出て各地方を巡視す○是東京府知事渡邊洪基帝國大學總長に任ず○是月學事表簿雛式を廢す○是月農商務局の所屬とす

四月師範學校令を定む○是月小學校令を定む○是月中學校令を定むたる○是月諸學校通則を定む○是月帝國大學大學院規程並に學生給費及補助規程外科大學特待學生規程を定む○是月文部省十九年度の定額金八十五万八千三百二十六圓とある○是月帝國大學分科大學の視程を定めて法科工科文科理科の四大學を三周年醫科大學を四周年とあり○是月東京教育博物館規則を改正す○是月高等師範學校高等中學校東京商業學校官制を定む、各校に學校長教諭、幹事等を置く○是月東京大學豫備門を廢す○是月高等師範學校と東京師範學校とを合併し東京師範學校と改稱す○是月文部省事務規程通則を定む○是月東京大學文學部の和漢文學科を分ちて和文學漢文學の二科とゝす○是月文部省所轄學校の授業科は十八年度より其學校に於て使用し或は積置くことを得しむ

三月中學校師範學校教員免許規程を廢止す

四月東京學士會院規則を改定す○是月文部省官制用掛森有禮をして京都大阪滋賀兵庫岡山廣島德島愛媛高知の二府七縣の學事を巡視せしむ○是月英國倫敦府萬國發明品博覽會に歌○是月東京大學別科醫學別科法學別科を廢止す○是月文部省官制用掛森有禮を廢止す

五月音樂取調掛事務章程を定む○是月師範學校規程を定む○是月文部省官制用掛を廢止す○是月文部省官制用掛を廢止す

六月文部省官制用掛寺田勇吉を京都大阪兵庫愛知岡山廣島山口の二府五縣に發遣して其學事を巡視せしむ○是月文部省官制用掛を廢止す

十二万二十八百圓とある○是月宮崎在京の府縣長官等を招集して教育施設上の要旨を演示す

七月大阪中學校の組織を改めて大學予科と稱す

八月教育令を改正す○是月東京大學豫備門を廢止し東京法學校の豫備科及東京外國語學校の佛國兩語學科を之に屬す○是月東京大學豫備門專務章程を定む○是月所縣立學校及町村立學校を廢止す○是月東京女子師範學校及東京師範學校に合併す○是月文部省官制用掛森有禮を東京師範學校監督とす

○是月東京高工學校長正木退藏を京都大阪兵庫三縣知事に歌す

九月大學分科大學を定む○是月東京外國語學校同校附屬高等商業學校及東京商業學校を合併し其稱を改めて東京商業學校とす因りて姑く從前の高等商業學校の教科を第一部とし東京商業學校の教科を第二部とす○是月東京法學校を東京大學法學部に合併す○是月文部少書記官西村貞太郎を長崎縣岡山新潟埼玉千葉茨城群馬栃木神奈川山梨長野の一府十縣に派遣して其の學事を巡視せしむ

十月從來特に女子師範學校を設置せる者は師範學校に合併し向後女教員の養成は師範學校に於てせしむ○是月府縣選擧師範生徒募集規則を廢し更に東京師範學校生徒募集要項を定む○是月東京圖書館を東京教育博物館構內に移す○是月文部省官制用掛森有禮をして東京大學二府及兵庫三縣巡視教育視察の為歐洲に發遣す

十一月小學教場の設置に關する心得を定む○是月民式體操及輕體操教員養成の要領を定む○是月東京師範學校教員の採用方を定む○是月文部省第十一年報（明治十六年分）成り上奏す○是月文部大書記官福沢新教育上取調のため歐洲に發遣す

十二月東京大學理學部の機械工學士木工學業綱治金學應用化學等の諸學科を分別して工藝學部を置き文學部中の政治學科を法學部に移す○是月公立小學校の學則は一箇年を以て一學級とみなさしむ○是月樂善會私設の訓黃塾院を文部省の所轄とせる者は是月政府の組織を改革し太政大臣左大臣參議等省卿の職制を廢し更に內閣總理大臣各省大臣を置く森有禮文部大臣に任す○是月工部大學校文部省の所轄に屬す○是月官製海外留學生規則を更正して留學卒業生の外外國語學校卒業者を得しむ○是月文部省從前の各局を廢し更に文部大臣官房學務局編輯局會計局を置き其事務章程を定む文省中に視學部を置く○是月體操傳習所を東京師範學校の附屬とす

十九年一月東京師範學校教頭幹事の職務分掌を定む○是月所轄部局の會計及營繕事務は本省會計局に於て主宰せしむ○是月東京商業學校附屬商工徒弟講習所を東京高等商業學校附屬とし更に理事加藤弘之元老院議官を以て校長に任ず

二月文部少書記官手島精一をして神奈川縣の學事を巡視せしむ○是月各省官制を定む

文部省中次官、秘書官、書記官、局長、參事官、局次長、視學官、試補、屬の職員を置き又大臣官房、總務局、學務局、編輯局、會計局を置く

是月東京師範學校附屬高等女學校を文部省總務局の所屬とす○是月東京商業學校の附屬とす

三月帝國大學令を定む

帝國大學は大學院及分科大學即法科、醫科、工科、文科、理科の諸大學を以て構成し帝國大學に總長、評議官、書記官、學監、書記の職員を置き分科大學に長、教頭、教授、助教授、舍監、書記の職員を置く因て東京大學及工部大學校を以て帝國大學とし其位置を東京本郷區元富士町に定む

是月辻新次文部次官に任ず○是月全國を五地方部に分劃し五名の視學官をして之を分擔せしむ○爾後視學官數名出て各地方を巡視す○是月東京府知事渡邊洪基帝國大學總長に任ず○是月學事表簿雛式を廢す○是月農商務局の所屬とす

四月師範學校令を定む○是月小學校令を定む○是月中學校令を定むたる○是月諸學校通則を定む○是月帝國大學大學院規程並に學生給費及補助規程外科大學特待學生規程を定む○是月文部省十九年度の定額金八十五万八千三百二十六圓とある○是月帝國大學分科大學の視程を定めて法科工科文科理科の四大學を三周年醫科大學を四周年とあり○是月東京教育博物館規則を改正す○是月高等師範學校高等中學校東京商業學校官制を定む、各校に學校長教諭、幹事等を置く○是月東京大學豫備門を廢す○是月高等師範學校と東京師範學校とを合併し東京師範學校と改稱す○是月文部省事務規程通則を定む○是月東京大學文學部の和漢文學科を分ちて和文學漢文學の二科とゝす○是月文部省所轄學校の授業科は十八年度より其學校に於て使用し或は積置くことを得しむ

三月中學校師範學校教員免許規程を廢止す

四月東京學士會院規則を改定す○是月文部省官制用掛森有禮をして京都大阪滋賀兵庫岡山廣島德島愛媛高知の二府七縣の學事を巡視せしむ○是月英國倫敦府萬國發明品博覽會に歌○是月東京大學別科醫學別科法學別科を廢止す○是月文部省官制用掛森有禮を廢止す

五月音樂取調掛事務章程を定む○是月師範學校規程を定む○是月文部省官制用掛を廢止す○是月文部省官制用掛を廢止す

六月文部省官制用掛寺田勇吉を京都大阪兵庫愛知岡山廣島山口の二府五縣に發遣して其學事を巡視せしむ○是月文部省官制用掛を廢止す

十二万二十八百圓とある○是月宮崎在京の府縣長官等を招集して教育施設上の要旨を演示す

七月大阪中學校の組織を改めて大學予科と稱す

八月教育令を改正す○是月東京大學豫備門を廢止し東京法學校の豫備科及東京外國語學校の佛國兩語學科を之に屬す○是月東京大學豫備門專務章程を定む○是月所縣立學校及町村立學校を廢止す○是月東京女子師範學校及東京師範學校に合併す○是月文部省官制用掛森有禮を東京師範學校監督とす

○是月東京高工學校長正木退藏を京都大阪兵庫三縣知事に歌す

九月大學分科大學を定む○是月東京外國語學校同校附屬高等商業學校及東京商業學校を合併し其稱を改めて東京商業學校とす因りて姑く從前の高等商業學校の教科を第一部とし東京商業學校の教科を第二部とす○是月東京法學校を東京大學法學部に合併す○是月文部少書記官西村貞太郎を長崎縣岡山新潟埼玉千葉茨城群馬栃木神奈川山梨長野の一府十縣に派遣して其の學事を巡視せしむ

十月從來特に女子師範學校を設置せる者は師範學校に合併し向後女教員の養成は師範學校に於てせしむ○是月府縣選擧師範生徒募集規則を廢し更に東京師範學校生徒募集要項を定む○是月東京圖書館を東京教育博物館構內に移す○是月文部省官制用掛森有禮をして東京大學二府及兵庫三縣巡視教育視察の為歐洲に發遣す

十一月小學教場の設置に關する心得を定む○是月民式體操及輕體操教員養成の要領を定む○是月東京師範學校教員の採用方を定む○是月文部省第十一年報（明治十六年分）成り上奏す○是月文部大書記官福沢新教育上取調のため歐洲に發遣す

十二月東京大學理學部の機械工學士木工學業綱治金學應用化學等の諸學科を分別して工藝學部を置き文學部中の政治學科を法學部に移す○是月公立小學校の學則は一箇年を以て一學級とみなさしむ○是月樂善會私設の訓黃塾院を文部省の所轄とせる者は是月政府の組織を改革し太政大臣左大臣參議等省卿の職制を廢し更に內閣總理大臣各省大臣を置く森有禮文部大臣に任す○是月工部大學校文部省の所轄に屬す○是月官製海外留學生規則を更正して留學卒業生の外外國語學校卒業者を得しむ○是月文部省從前の各局を廢し更に文部大臣官房學務局編輯局會計局を置き其事務章程を定む文省中に視學部を置く○是月體操傳習所を東京師範學校の附屬とす

十九年一月東京師範學校教頭幹事の職務分掌を定む○是月所轄部局の會計及營繕事務は本省會計局に於て主宰せしむ○是月東京商業學校附屬商工徒弟講習所を東京高等商業學校附屬とし更に理事加藤弘之元老院議官を以て校長に任ず

二月文部少書記官手島精一をして神奈川縣の學事を巡視せしむ○是月各省官制を定む

文部省中次官、秘書官、書記官、局長、參事官、局次長、視學官、試補、屬の職員を置き又大臣官房、總務局、學務局、編輯局、會計局を置く

是月東京師範學校附屬高等女學校を文部省總務局の所屬とす○是月東京商業學校の附屬とす

三月帝國大學令を定む

帝國大學は大學院及分科大學即法科、醫科、工科、文科、理科の諸大學を以て構成し帝國大學に總長、評議官、書記官、學監、書記の職員を置き分科大學に長、教頭、教授、助教授、舍監、書記の職員を置く因て東京大學及工部大學校を以て帝國大學とし其位置を東京本郷區元富士町に定む

是月辻新次文部次官に任ず○是月全國を五地方部に分劃し五名の視學官をして之を分擔せしむ○爾後視學官數名出て各地方を巡視す○是月東京府知事渡邊洪基帝國大學總長に任ず○是月學事表簿雛式を廢す○是月農商務局の所屬とす

四月師範學校令を定む○是月小學校令を定む○是月中學校令を定むたる○是月諸學校通則を定む○是月帝國大學大學院規程並に學生給費及補助規程外科大學特待學生規程を定む○是月文部省十九年度の定額金八十五万八千三百二十六圓とある○是月帝國大學分科大學の視程を定めて法科工科文科理科の四大學を三周年醫科大學を四周年とあり○是月東京教育博物館規則を改正す○是月高等師範學校高等中學校東京商業學校官制を定む、各校に學校長教諭、幹事等を置く○是月東京大學豫備門を廢す○是月高等師範學校と東京師範學校とを合併し東京師範學校と改稱す○是月文部省事務規程通則を定む○是月東京大學文學部の和漢文學科を分ちて和文學漢文學の二科とゝす○是月文部省所轄學校の授業科は十八年度より其學校に於て使用し或は積置くことを得しむ

三月中學校師範學校教員免許規程を廢止す

四月東京學士會院規則を改定す○是月文部省官制用掛森有禮をして京都大阪滋賀兵庫岡山廣島德島愛媛高知の二府七縣の學事を巡視せしむ○是月英國倫敦府萬國發明品博覽會に歌○是月東京大學別科醫學別科法學別科を廢止す○是月文部省官制用掛森有禮を廢止す

京都西陣織物貴婦人洋服地其他數品
新着無物廉々御賣出長期勉強御注文奉願候

昨三日大親睦會の節は御多人數に事故不敬不行屆の段
招待諸君及組合諸氏へ謹謝す
東京油小賣商組合頭取金原明善油方代理
長澤啓三郎

父野田伴助儀久々病氣ノ處養生不相叶五月廿六日郷里
秋田ニ於テ死去ス此段知己諸君ニ報ス
東京下谷練塀町四十九番地
秋田縣西根小屋町八番地
野出鎗三郎
篠瀬綜四郎

帝國醫科大學
插圖顯微鏡
此書ハ顯微鏡及化學的試驗及

○米國通信

阿片と米國人

產物なて而か々限りもあ充のある事は人は今今の文明品の一種にてまで益々其需是を以て大英殆んどこれなる去行きて今よ入する程の場の事物に多少あれば又必ずにて即ち利害く此の阿片の行することゝ の事あり然れ單ふ支那人とて更に他の國りたるに樂のと共に又之をなりとは現にり然るゝ何がの二人種に限尋ねるに元來の四字を有すも世間の人目設け以て宗教故る容易に其